

第5回放射線教育に関する国際シンポジウム(ISRE2016)

一般公開セッション「放射線の健康影響と学校教育」と参加申込方法

日時： 2016年12月18日(日) 13:00～16:45 受付開始12:30
会場： 郡山商工会議所会館6階ホールA (「会場へのアクセス」参照)
主催： NPO法人放射線教育フォーラム
後援： 福島県、郡山市(申請中)、福島県教育委員会、郡山市教育委員会(申請中)、郡山商工会議所(同)、郡山コンベンションビューロー(同)、福島民報社、福島民友新聞社

募集定員： 100人

参加費： 無料

開催趣旨： わが国は原爆被災国でありながら、近年まで長期間にわたって放射線の基本知識に関する学校教育があまりなされてきませんでした。その結果が科学リテラシーの不足となって、東電福島第一原子力発電所事故の社会的な影響に表われました。

この状況下で放射線教育の重要性が痛切に認識され、放射線の記述が充実した中学校理科教科書を中心に、全国各地で放射線の新しい授業実践が始まりつつあります。特に、福島県は放射線の基本知識や人体への影響に関する教育を全国の自治体に先行して拡充してきました。放射線や放射性物質による影響が現在進行形で続いているなかで、放射線教育の拡充・支援は、教育関係者のみならず、国民ひとりひとりの課題でもあります。

NPO法人放射線教育フォーラムは、このたび主催する第5回放射線教育に関する国際シンポジウムにおいて、放射線教育に関心をもつ地域の学校教員や一般市民が参加しやすい一般公開セッションを特別に企画し、放射線の健康影響や学校教育への理解を深めるとともに、専門家、教員、一般市民の間の意見交流を図りたいと考えます。

プログラム

13:00 開会

【基調講演】

13:05 放射線健康リスクを一般公衆にどのように説明するのか
：チェルノブイリと福島原発事故から学んだ教訓
山下 俊一 長崎大学／福島県立医科大学
休憩 (10分)

【学校における放射線教育の取り組み】

14:30 福島県における放射線教育の取り組み
阿部 洋己 福島県立富岡町立富岡第一中学校
14:55 「学校と学校のつながり」「人と人とのつながり」を大切にした放射線教育
佐々木 清 前福島県郡山市立郡山第六中学校
15:20 福島高校での放射線教育の取り組み
原 尚志 福島県立福島高校
休憩 (10分)

【学校における放射線教育の支援】

15:55 放射線教育フォーラムにおける近年の授業実践支援活動
田中 隆一 放射線教育フォーラム
16:20 日本原子力学会における原子力・放射線教育の支援活動
工藤 和彦 九州大学名誉教授

16:45 閉会

■参加申込方法

一般公開セッションへの参加を希望される場合は、12月9日(金)までに放射線教育フォーラム事務局へ申し込んでください。

以下の書式を利用し、forum@ref.or.jp に送信するか、あるいはFAXでお申し込みください。

12月18日(日)の一般公開セッションに参加を申し込みます。

氏名： _____ (ふりがな： _____)

住所：〒 _____

連絡先：電話 _____ またはメール _____

所属(無記入でも構いません)： _____

お問い合わせ先：〒110-0015 東京都台東区東上野6-7-2 萬栄ビル202号室

NPO法人放射線教育フォーラム事務所

TEL: 03-3843-1070 FAX: 03-3843-1080

メール: forum@ref.or.jp